

【概要】

物理化学・分析化学・放射薬品学等で修得した原理や方法の応用として、生体分子の構造や機能を解析する知識と技能を修得するとともに、創薬や病態解析へ展開について学ぶ。「タンパク質・核酸の構造及び機能解析」、「生体分子の機能を制御する医薬品の創製」、「生体成分及び医薬品の高感度分析法とその病態解析への応用」及び「分子イメージングによる病態診断法」について学修する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による